



絆

きずな

令和5年9月
第140号

荒川区立南千住第二中学校
校長 松田 公好



4年ぶりに実施

レスキュー部 夏の防災訓練

D級ポンプ放水訓練



8月24日(木)、4年ぶりとなるレスキュー部による夏季防災訓練が実施されました。東京地方を最大震度6強の地震が襲い、南千住二中が避難所として開設されたという想定での訓練でした。4年ぶりということもあり、今回は学年



投光器の組み立て

ごとに訓練内容を分けての実施となりました。

3年生は普通救命講習、2年生は炊き出しと高齢者避難誘導、1年生は避難所設営とD級ポンプ操作の訓練でした。



段ボールベッド完成

3年生の普通救命講習は、荒川消防署や消防団の方の指導を受け、人形やAEDを操作しながら人工蘇生法などを3時間にわたって学び、普通救命講習修了証(3年間有効)が交付されました。



おコメの量はこれくらい

2年生は日本赤十字社の協力を得て大きな窯で小袋に分けた米を炊き、レトルトカレーを温めての炊き出しをしました。また、協力していただいた地域の高齢者宅に伺い、避難所となった南千住二中まで誘導しました。普段から絆ネットワークでつながっている方々で、とてもスムーズに誘導することができました。

1年生はさらに小グループに分かれ、区防災課の方の指導で、避難所で必要になる段ボールの間仕切り、段ボールベッド、簡易トイレ、大型投光器の設営などを体験しました。また、消防署の指導を受け、校庭でD級ポンプを操作し、実際に放水する訓練も行いました。



救命講習しつかりと

それぞれの内容をこなした後、地域の方々と部員がアリーナに集まり、炊き出しで提供されたカレーライスをいただき、閉校式を迎えました。万が一災害が発生した時、中学生が地域で果たす役割が期待されています。



訓練が終わりカレーの味も格別

その意味でも、南千住二中レスキュー部の活動は大変意味のあるものです。

ご協力いただいた地域の皆様、各機関の皆様、ありがとうございました。



地域の方と一緒に炊き出しカレー

荒川区防災部被災地派遣

7月27日(木)～28日(金)に、荒川区中学校防災部連合行事である、岩手県被災地訪問が行われました。荒川区立中学校10校にはすべて防災部があります。この防災部ができたきっかけは南千住二中のレスキュー部です。この被災地派遣には区内中学校から2人ずつ代表生徒が選出され計20名の2年生が参加しました。南千住二中からは、
さんと
さんが参加しました。

夏休み前から2度の事前学習会を経て、この日、岩手県の釜石市を訪問しました。新幹線で上野駅を出発し新花巻駅へ。1日目は甚大な被害を受けた地域の釜石東中学校の生徒の皆さんと交流会を行ない、互いの防災意識や取組についての意見交換を行ないました。その後、震災の語り部
さんにお会いし、バスで釜石市内を巡りながら、東日本大震災が起こった当時の状況などをお話していただきました。復興が進みつつある街をみながら当時が大変な状況であったことが分かりました。

夕食後は、語り部の佐々木さんを再度、講師としてお招きし学習会を行ないました。震災を経験して得た教訓などについてお話していただき、自分たちの生活にもいかすべきだと強く感じました。

2日目は「いのちをつなぐ未来館」を訪れ、館内見学を行った後、鶴住居小学校と釜石東中学校の児童・生徒が避難経路にした道を実際に歩きました。この道を小学生の手を引いて避難した当時の釜石東中の生徒の気持ちを考えると胸が締め付けられる思いでした。さらにその後、旅館・宝来館を訪れ、女将さんに当時の状況についてうかがいました。実際に津波の映像を見たり、被害状況などをお話していただき、衝撃的な内容でしたが、防災に対する意識はさらに高まる内容でした。



参加した2人

そして新幹線で上野駅に戻り、2日間のスケジュールが終了しました。帰京後も事後学習会を経て、8月25日(金)に「ゆいの森あらかわ」で報告会が行なわれました。参加生徒が4つのグループに分かれ、それぞれの班で発表しました。二人とも大変立派な発表で、参観した保護者の方々や区の関係者も大変感心していました。この内容は霜月祭でも発表する予定です。

JRCリーダーシップチャレンジ

8月16日(水)にはJRCリーダーシップチャレンジが行われました。これは、日本赤十字社が主催するJRC(青少年赤十字)活動のリーダー養成のためのものです。当初の予定では14～16日の3日間でしたが、台風接近の予報のため16日みのプログラムに組み替えられました。会の中では、視覚障がいの方や高齢者・妊婦の苦勞を体験し、自分ができることは何かを考え、行動に移す力の養成が行われました。参加した2年生
さん、
さん、
さん、1年生
さん、
さん、
さんの
6人は、まさにJRCの行動目標である「気づき 考え 実行する」を体現してくれました。



震災のモニタメント



避難した道歩く



釜石東中との交流

視覚障がいの体験



1年生 清里移動教室

リニアに乗る！？



9月6日(水)～9月8日(金)は1年生の**清里移動教室**でした。夏休み明けのまだ暑い時期でしたが、高原の気候は涼しく、たくさん経験の積んできました。

林業体験 高い木に登る



1日目は学校を出発し、まずはリニア見学センターを訪れました。開業が迫るリニアモーターカーの迫力に圧倒されました。次に向かったのは忍野八海。富士の湧き水の美しさに心を洗われる思いでした。忍野八海での昼食後に向かったのは、いよいよ清里高原の中心ともいえる清泉寮です。清里高原開発の象徴ともいえる場所で、ポール・ラッシュ博士の偉業を肌で感じ取りました。また、そこでいただいた新鮮な牛乳から作られたソフトクリームの味は格別でした。その後、宿舎に入り、レク係が準備した楽しいレクリエーション大会で盛り上がりました。夕食・入浴を済ませ、1日の反省をして1日目は終わりました。

チーズ・バター作り



2日目は農業大学校での農業体験を行いました。3日間の移動

教室のメインともいえる体験学習です。体験の内容は「養鶏」「ジャムづくり」「チーズ・バターづくり」「炭焼き」「木工」「林業」「野菜収穫」の7テーマで、各テーマ



午後の森林づくり

20人ほどのグループで行いました。また、午後からは森林づくりのプログラムを体験しました。初めてのことに戸惑いましたが、指導員の方の支援を受け、それぞれ内容を楽しくこなしました。ほんの一部かもしれませんが、農林業の大変さや楽しさを感じることができました。

さて最終日は、昇仙峡を見学する予定でしたが、台風が迫る予報のため、見学を断念しました。しかし、浅間園でのバーベキューは雨も風もなく予定通り実施できました。バーベキューをしながらお弁当を頬張り大満足。とても内容の濃い3日間



でした。

学校に戻り、解散式では各係長が清里で学んだことと、今後の学校生活に生かしたいことを発表しました。そして最後に実行委員長さんから「各係長からの反省を心にとめ、これからの学校生活を送りましょう」と、この清里移動教室が締めくくられました。

一回り成長した1年生の姿が印象的でした。



最終日はみんなで楽しくバーベキュー



南二中の記念植樹

わくわくまちあるきたんけん隊(ボランティア)



く築いています。

この日は小学生が地域をめぐるとき案内役のボランティアを務めました。普段から地域学習を進めている南二中生が小学生に分かりやすく地域の史跡や文化財について説明しました。小学生は目を光らせて話を聞いてくれて、地域を誇りに思う気持ちが芽生えたことでしょう。会を主催した地区委員の方々からも南二中生のしっかりした説明に賞賛の声をいただきました。

9月10日(日)、青少年育成南千住地区委員会が主催する「わくわくまちあるきたんけん隊」が催されました。これは南千住の史跡や文化財をめぐり、このに街のことをよく知ろうという目的で行われています。この催しに一役買うのが南千住二中レスキュー部です。レスキュー部は単に防災活動をするだけでなく、普段から地域の行事に参加し、地域の皆さんとの関係をより深



ボランティア参加者

南千住検定

9月16日(土)2時間目、「南千住検定」が行われました。今年度は土曜日に実施し、保護者の方々にもご案内し、4人の方が受検されました。生徒は各教室で受検しました。



検定講座

検定に先駆けて、9月12日(火)行われた「南千住検定講座」では、基本的な問題や過去の問題をもとに解説が行われました。検定本を手に真剣に聞き入る生徒の姿が見られました。結果は次号で紹介します。

部活動等の活躍

夏休みもたくさん成果!

《吹奏楽部》

東京都中学校吹奏楽コンクール **銀賞**



吹奏楽部 都コンクール

《バスケットボール部》

【女子】サンライズカップ **優勝**

<最優秀選手>

さん(2)

<優秀選手>

さん(2)

《ソフトテニス部》

【男子】荒川区民大会 中学生男子の部 **優勝**

さん(3)、

さん(3)組

《バレーボール部》

荒川区新人シード権大会 女子の部 **第2位**

()は学年